

## (2) 報告

### ② モデル校の選定について

#### 1 モデル校選定の経過

平成 27 年 2 月 5 日：「小中一貫教育校の在り方検討会議」座長から教育長に一次報告が手交された。

平成 27 年 2 月 6 日：市町村に一次報告の内容を説明し、モデル校の設置にかかる意向確認の文書を発出した。

平成 27 年 2 月 20 日：海老名市、秦野市、箱根町から設置の意向の提出、及び計画概要の作成依頼をした。

平成 27 年 3 月 5 日：計画概要の報告をもとに、県教育委員会において指定について協議し、審査した結果、次のとおりモデル校を指定することとした。

#### 2 モデル校（中学校区）

(1) 海老名市（有馬中学校区）-有馬中学校、有馬小学校、社家小学校、門沢橋小学校

(2) 秦野市（北中学校区）-北中学校、北小学校

(3) 箱根町（箱根中学校区）-箱根中学校、湯本小学校、仙石原小学校、箱根の森小学校

#### 3 提出された計画書の概要

##### (1) 海老名市

ア モデル校の施設形態 隣接型と分離型の併存

イ 期待される成果 中一ギャップの解消、学力の向上、児童・生徒の心の育ち、教職員の授業力向上

ウ 想定される課題 教職員の意識の醸成、教職員の多忙化、施設形態の違いによる取組内容の共有化

##### (2) 秦野市

ア モデル校の施設形態 隣接型

イ 期待される成果 地域・家庭との連携、学力の向上、義務教育 9 年間を一貫した教育課程の具体化

ウ 想定される課題 教職員の意識の醸成、教職員の多忙化

##### (3) 箱根町

ア モデル校の施設形態 分離型、町全体での取組

イ 期待される成果 地域に根ざした学校づくり、学力の向上、ICT の活用

ウ 想定される課題 教職員の意識の醸成、学校間の連絡調整

#### 4 選定の理由

(1) 海老名市 施設の形態が併存している中学校区における課題の解消、成果に関する知見を得ることが期待できる。

(2) 秦野市 従前より取り組んできた小中一貫教育の成果と課題を踏まえた発展的な取組と、施設が隣接している一中一小学校区の利点を生かした教育課程の編成に関する知見を得ることが期待できる。

(3) 箱根町 日常的な交流が非常に難しい分離型の形態の中での効果的な小中一貫教育のシステムづくりや地域学習を生かした取組に関する知見を得ることが期待できる。